

令和5年度 第12回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和6年3月19日（火） 午後7時から8時30分まで
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委 員 : 14名（欠席 2名）
事務局（上郷支所）：近藤支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 感謝状贈呈
- 3 協議事項
(1) 地域会議のふりかえりについて
- 4 報告事項
(1) 答申について
(2) 提言について
(3) 上郷地域バスについて
- 5 事務連絡
(1) 令和6年度の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 感謝状贈呈 省略
- 3 協議事項
(1) 地域会議のふりかえりについて

来期の地域会議に向けて、よりよい会議体にしていくための意見交換を実施した。

【質問・意見】

- (委員) 私が印象に残っているのは、神谷会長の発案により、この地域の都市計画法上の状況を直接都市計画課の職員からお話をいただいたこと。専門の担当者から話を聞いて、地域の現状を知ることが大変良いことだと思った。次年度以降も担当者から直接話をお聞きするような進め方をしていっていいのではないかと。
- (委員) 第9次豊田市総合計画の諮問について、私は残念だったと感じた。まとめあがった資料に対して意見を聞かれていたが、もっと内容を深掘りしていく中で、地域会議に意見を求めてもらえないか。
- (事務局) 諮問の内容については、担当課が決めていくことになるため難しい部分ではあるが、答申時に市長もこんな諮問でいいのかと言われていたため、今後はそうならないように担当課の方には進めて行っていただきたいと思う。

- (委員) 上郷地域会議から交通安全について提言したが、今後どうなっていくのかが見えなかった。提言に対して今後市がどのように検討・計画・実施・展開していくのか教えていただきたい。
- (事務局) 令和 6 年度は、啓発事業として提言時に委員さんから御提案いただいた大型車両の死角を学ぶ講座を畝部小・高嶺小にて実施する。また、上郷交流館の自主事業「こころつなぐカフェ」で劇団笑劇派に高齢者向けの交通安全講座を実施する予定でいる。ハード面については、現在交通安全防犯課と協議をしているところではあるが、支所で危険箇所の情報を集約し、交通安全防犯課が現場の状況等から最適な方法で解決できるよう進めていく予定でいる。情報の集約については、地域会議委員の皆さんをはじめ、通学路の危険箇所の把握のため各学校へのヒアリング等を行う予定をしている。また、報告事項でもお伝えする予定であるが、県道 239 号線の街路樹の撤去と歩道の舗装整備について、本日愛知県の担当課に工事申請書を提出してきた。詳細は報告事項でお伝えさせていただく。
- (委員) 市長と話せる会議体はなかなかないため、上郷地域会議がもっと先頭に立って市に言っていないといけない。上郷地域会議自体が上郷地区の代表だと言えるような会議体になってほしい。各地域や各団体、小・中学校の意見をもっと聞いて、いろんな問題を地域会議が受け持ち、まとめて市にぶつけていくというような地域会議になってほしい。
- (委員) 市に提言していくことを目標に、交通安全・柳川瀬公園について話し合ってきた。柳川瀬公園については、体育館が 10 年後に建替えがあると聞いて、防災に強い体育館づくりに向けて活発に話し合ってきたが、急にそれが延期になると聞き、トーンダウンしてしまった。今まで話し合ってきたことはどうなるのかと思ったが、要望は要望として言っていく大切さを知ったので、こういう話し合いは良いなと思った。交通安全についても、提言したことでハード面・ソフト面の企画をされていて、話し合ったことが次につながっていくことを知ることができた。また、地域会議委員として参加することで、市長・副市長と意見交換ができることもとても大事なことなので、地域会議委員が地域でどういう活動をしているのかを地区の人達にもっとアピールをして、地域会議委員の知名度を上げていってほしいと感じた。
- (委員) 去年は柳川瀬公園を防災公園にするというテーマで活発に話し合ってきたが、具現化できなかった。あの話し合った 1 年はどうなるのかと思ったが、後から冷静になって振り返ると、水で浸かるところに避難所ができるわけがなく、誰が逃げるのかと考えた。そういうことを踏まえて、テーマを選定した段階で、そのテーマを具現化、実現化するための最低限の条例、規約等をレクチャーしてもらわないといけない。レクチャーを受けずに具現化しない話を議論するのではなく、順序立ててやっていくべきである。また、太田市長がお見えになった時に言われたトヨタ自動車上郷工場との協定の話はさすがだと思った。万が一の時にそこにいけばいいという具体的なアドバイスをいただいた。このアドバイスを誰が真剣に受け止めて動くのか。市長との意見交換の後市議会議員とも話をしたが、市議が先頭になって動くのか、自治区の区長や支所が動くのか、的確

なアドバイスを具現化していかないと意味がない。来年の地域会議のテーマはそれでもいいと思う。

(委員) 議論の進め方について、この方向性で議論を進めていいかどうか、最初の段階で確認をしておくべきというのは同意である。地域会議は、条例により設置されている公的機関であるため、当然のことながら、疑問があれば該当課の職員が来て説明をするし、我々が提言したことに対して答えを必ず返さなければならない。そういった組織体であるということを念頭に置いて、うまく活用していければ良いと思う。また、市長の上郷工場をというアドバイスについて、自分は別の見方をしている、市長が認識しているのであれば、豊田市が動けば確実に答えが出るのではないかと、思った。

(委員) 以前、町を歩くとそこの町の認知症になる人が少ない傾向にあるという記事が掲載されていた新聞を見て、過去に上郷に住むと健康になる事業を実施していたため、上郷もその町のようなモデル地区になったら、全国的なニュースになるのではと思った。

(委員) ここで話し合ってきたことに対して、すぐに結論は出ないだろうと思っていたが、工事申請書の提出等少しずつ前に進んでおり、私が地域会議委員を退任した後になんか楽しみだと思っている。また、先ほど1年棒に振ったという意見があったが、私は違うと、やってみてダメだったのであれば、それで諦めるのではなくて次を考える良い機会だったのではないかと捉えている。

(委員) 地域会議の意見は、本当に市に通っているのか。副市長が来て意見を聞いてもらったが、答えとしては紙切れ1枚だけで、内容についても具体的なことは言っておらず、自分たちが一生懸命考えたことがそのまま終わっていくのかと思うと、地域会議は何をやったのかと思う。また、答申時に市長に対して上郷地区がどのように発展すればいいかということをもう少し詳しく聞きたいと思い、事務局を通して担当課に聞いてもらったが、回答は、「上郷地区が将来にわたって豊かな自然の中で便利に暮らし続けられる地域となっていくために、地域が商業や交通など様々な機能やサービスを地域の資源・財産として捉え、大切にしていくことが重要であると考えています。」と、当たり前のことが返ってきて、自分の思いと少し違っていた。提言のテーマ選定については、今回はアンケートから選定したが、市議が畝部地区の各自治区に行った時の資料を見て、各地区には様々な問題があることを知り、自分の住んでいる地区のことは分かるが、少し離れた地区のこともこういう場で話し合っても良いのではと思う。

(委員) 地域会議からの提言については、市の該当課が予算措置をとって、来年度以降に予算に盛り込むことになる。実際に答えが見えてくるのは、4月以降となるため、もうしばらく待たないといけない。

(委員) 大きな商業施設が欲しいと要望しても、市街化区域には建てられるが、市街化調整区域には立たない。ましてや農業振興地域で田を潰してとなると絶対と断言していいほど建たない。まずはそのことを皆さんに知ってもらうことが大事である。体育館の話ではないが、委員の思いを実現することが不可能であれば、事務局から無理であると言われてもらわないと、委員の思いだけが進んでいってしま

うので、はっきりと言っていたら、違うことを考えていった方が良いと思う。

(委員) そういった場合は確かに事務局から示唆することも重要かもしれないが、私はそのことは承知の上で、言い続けないと答えが出ないと思っている。

(委員) 委員の皆さんに質問をさせていただきたいが、私は区長会からの推薦で地域会議委員となっているが、皆さんは自治区推薦やコミュニティ会議推薦等を出ていると思う。そういう方々はその推薦団体の中で、地域会議の話をされたり、団体の方の意見を聞いたりしているのかを聞きたい。私は現在副区長であり地区区長会には出ていないため、地域会議の話をできていないが、4月以降は区長となるため、区長会の中でここで話したことを話すべきなのか、個人的に参加していればいいのか知りたい。

(委員) 私はコミュニティ会議推薦だが、5年前にコミュニティ会議の役をやっていた関係で地域会議に参加させてもらうようになったが、地域会議委員になった時にはコミュニティ会議を退任していたため、地域会議の話を持ち帰って報告・周知をするという場面はこれまで一切なかった。

(事務局) 理想は御発言にあったように、推薦団体に持ち帰って、意見や状況を伝えてもらいたいが、推薦いただいた方は自治区やコミュニティ会議がどうか見つけていただいた方で、実情としてはなかなかできていないと聞いている。隣の末野原地区も状況は同様であるが、唯一違うのは、地区区長会長が区長会の中で地域会議の状況等を意識的に話題として挙げていただいている。来年度はぜひ上郷地区区長会で情報共有をしていただけるとありがたい。

(委員) 議論をしていく中で、区長会と地域会議、又は市議員と地域会議での議論の場、情報共有の場を持つても良いのではないか。

(委員) 今年1年地域会議委員をやって、通学路や子供の安全、自治区の安全を見る上ですごく勉強になった。残り1年ではあるが、もっと良いものにしていかないといけない。

(委員) 昨年度から、地域を良くするために市長に提言ができるということで、チャンスだと思い、公園部会は盛り上がり、皆さんが活発に発言されていたが、先ほども言われたように区長会とも絡みがなく、地域の人達にも私たちの話合いの内容が伝わっていない。お互いに共働ができていないので、話が進んでいかないと考えていた。これからは個で動いていくのではなく、コミュニティ会議や区長会、地域会議も皆さん一緒になって、同じ目標に向かって動いていくといろんなことが変わってくるんじゃないかと思った。

(委員) 地域の人、人口で言うと約13,000人の人たちがある程度同じ方向で意見を伝えていくと、伝わり方が違ってくると思う。現状を知って、問題点を抽出して、自分たちの言葉で伝えていくことが地域としてできていくとうまく伝わると思う。支所も地域振興部の仕事としてうまく調整してもらえるとありがたい。

(委員) 何十年か前、隣の岡崎市の大門駅周辺は田んぼと畑ばかりであったが、現在の大門駅周辺はほとんど田んぼがなく、家やアパート、事業所やスーパーになっている。昔の上郷と大門は地域的にそこまで変わりはないと思うが、そういう違いを見て、もう2年地域会議委員をやることにした。また、柳川瀬公園の体

育館の話について、市の建替え計画を変更させて、あそこを一時避難の場所にしてやろうという意気込みで、もう2年頑張ろうと思っている。今から20年経過したら高齢者ばかりになってしまう。高齢者は車では逃げられず、徒歩で逃げるしかない。場合によっては歩けない人もいる。市役所はただ単に高いところに逃げよというが、そういう人をどこに避難させるかということをもう少し考えていかないといけない。高速道路に逃がすということもあるのかもしれないが、もう少し考え方を変えないといけないかなと思う。

(委員) 叶わないならなぜ叶わないのかというところを突き詰めて、違うやり方でアプローチして、執念深く狙いを定めて最終的にゴールを目指していただきたいと思う。

4 報告事項

- (1) 答申について
- (2) 提言について
- (3) 上郷地域バスについて

上記について、事務局から報告がされた。

5 事務連絡

- (1) 次回の地域会議日程について

◆次回会議開催

◇令和6年度 第1回地域会議

と き：令和6年4月16日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール